

# JOYO BANK NEWS LETTER

2022年6月30日

## トランジション・リンク・ローンの実行について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、J X金属株式会社（代表取締役 村山 誠一）に対しトランジション・リンク・ローン（以下、「TLL」）を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

TLLは、脱炭素社会の実現に向けた長期的な戦略に則り、着実な温室効果ガス削減の取り組みを行う企業に対し、その取り組みを支援することを目的とした新しい資金調達手法であるトランジション・ファイナンスの1つです。

本TLLでは、野心的な目標として借入人の脱炭素に向けたトランジション戦略と整合した「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）」を設定し、その達成度合に貸付条件を連動させることにより、借入人にSPTs達成への動機付けとトランジション戦略の実現に対するインセンティブを与えるものです。

なお、本TLLは、J X金属株式会社が策定した「トランジション・リンク・ローン・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）」に基づき、ご融資を実行しています。本フレームワークは、株式会社日本格付研究所より、TLLとしての要件を定めた各種原則等（※末尾に記載）に準拠する旨の第三者評価を取得しています。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンとして掲げ、持続可能な地域社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする地域の全てのステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続けてまいります。

### 記

#### 1. 本トランジション・リンク・ローンの概要

借入人	J X金属株式会社
実行金額	10億円
契約締結日	2022年6月30日
資金用途	事業資金
KPI	①CO2排出量(scope1+scope2) ②銅製錬におけるリサイクル原料投入割合
SPTs	①SPT1：2030年度までCO <sub>2</sub> 排出量の2018年度比50%削減維持 ②SPT2：リサイクル原料比率を2030年度に25%まで引上げ

## 2. J X金属株式会社の概要

代 表 者	村山 誠一
本 社 所 在 地	東京都港区虎ノ門二丁目 10 番 4 号 オークラ プレステージタワー
設 立	2002 年 9 月
資 本 金	750 億円 (ENEOS ホールディングス株式会社 100%出資)
事 業 内 容	非鉄金属資源および先端素材の供給 (資源開発、金属製錬、先端素材の開発・製造、環境リサイクル)
企 業 の 概 要	<p>日立鉱山を源流とし、J X金属株式会社を中核企業とする J X金属グループは、2020年に経団連の脱炭素プロジェクト「チャレンジ・ゼロ」にいち早く参画し、2030年度にCO2総排出量50%削減（2018年度比）、2050年度にCO2ネットゼロの実現を目指しています。</p> <p>CO2フリー電力への切替や再生可能エネルギーの利用を拡大していくとともに、生産プロセスの高効率化、省エネ性能の強化、リサイクル原料使用割合の拡大などに取り組み、環境保全に努めています。</p> <p>なお、今般 J X金属グループは、世界的な半導体需要増に対応すべく、「創業の地」である茨城県日立市の砂沢町および白銀町での新工場建設を決定しました。総投資額は2工場合わせ約300億円規模となる見通しです。これらで生産される半導体用スパッタリングターゲットおよび圧延銅箔は、当社が「2040年 J X金属グループ長期ビジョン」で「フォーカス事業」として位置付けている先端素材分野の中核製品であり、世界でもトップシェアを有しています。またひたちなか市にも新工場建設に向け大規模用地を取得しており、日立地区拠点との連携強化により J X金属グループの一大主要拠点となることが期待されています。</p>

※各種原則等…国際資本市場協会「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」  
 金融庁・経済産業省・環境省「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」  
 ローン・マーケット・アソシエーション「サステナビリティ・リンク・ローン原則」  
 国際資本市場協会「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」  
 環境省「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」

※ J X金属株式会社のホームページ <https://www.nmm.jx-group.co.jp/>

※株式会社日本格付研究所のホームページ <https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上